

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
作詞・作曲4											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	藤崎昌弘			実務 経験	有	職種	A&R、原版制作ディレクター、サウンドプロデューサー				
授業概要											
ポピュラー音楽の1番の基本となる、作詞と作曲。この2つが欠けては歌モノのジャンルは到底制作できない。この授業ではそういった1番の核となる部分を中心にオリジナル曲の根拠となるメロディーと歌詞の創作方法を過去のヒット曲から分析し自ら制作できるようにする。											
到達目標											
1年次で学んだ作詞、作曲の基本であるターゲットやコンセプトをより深く理解し、オリジナリティーがあり、かつ共感を得るメロディー、歌詞を書くことをより発展させる。そんな中でも過去のヒット曲を分析することで「音楽をただ作る」のではなく、意識してヒット曲を創作することを目標とする。											
授業方法											
講師指定の既存楽曲を歌詞の側面、メロディーとサウンドの側面から分析する。男声女声の音域、Aメロ、Bメロ、サビのようにセクションによって変化するメロディーの特徴、歌詞の特徴などから、メロディーと歌詞の関係性を学ぶ。定期的にメロディー譜を写譜をし提出することで見本となるような譜面のイメージを掴みながら音楽制作の現場で使われている作詞作曲のテクニックを学ぶ。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
授業内で資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	前期の復習										
第2回	比喩表現を学ぶ。勅諭法、隠喩(暗喩)法、メタファー、擬人法。										
第3回	テンションノートを多用したメロディー制作について学ぶ										

作詞・作曲4

第4回	あらかじめ用意したメロディーから穴埋め問題を作り、メロディーの発展の仕方を学ぶ。
第5回	アウフタクトにおけるメロディーと歌詞のフレーズの書き方とその効果の研究と考察。
第6回	2,3人のグループに分け、テーマを設けてそこから連想されるワードをあげ作詞することが出来る。
第7回	前回のグループでワードを使い実際に作詞する。1コーラス仕上げて提出することが出来る。
第8回	反復法、倒置法とは何かを学びその効果を体感する。ヒット曲での考察し、学ぶ
第9回	職業作家とシンガーソングライター。既存曲のメロディー分析し学ぶ
第10回	ブレスの重要性について。既存曲の歌詞とメロディーの関係性を分析し学ぶ。
第11回	タイトルのつけ方、印象的な歌詞を既存曲から分析し学ぶ。
第12回	印象的なタイトル、歌詞を意識して書けるようにする。
第13回	オリジナルの歌詞、メロディー制作。
第14回	テストとしての自作曲のメロディー譜と歌詞の提出。
第15回	全体まとめ